

【1-1. 概要説明】
・レジでの会計業務を行う

【1-2. 画面レイアウト定義】

レジ-商品選択

(1)

チョコレートクレープ

(2)

X

C(3)

いちごクレープ

X

0

カート

・ チョコレートクレープ\200(4)

会計へ(5)

商品名	単価	個数	金額
いちごクレープ(6)	120(7)	1(8)	120(9)
チョコレートクレープ	120	2	240
	360(10)		
お預かり	400(11)		
お釣り	40(12)		

確定(13)

【1-3. 画面項目定義】

番号	項目名	項目名 (英字)	属性	型	数値 (Byte)	I/O	必須 チェック	入力制限				表示形式 (編集仕様)	DBアクセス	対応テーブル名	詳細
								カタ カナ	英 字	数 値					
(1)	取り消しボタン	cancelButton	div	-		I/O	-	-	-	-	-		○		
(2)	商品選択ボタン	selectButton	div	-	-	I/O	-	-	-	-	-		○	商品表.商品名	DBから商品テーブルを検索し、一件あればこれら3つを出力する。商品名を商品選択ボタンのテキスト欄として挿入する
(3)	個数表示	countLabel	label	-	-	I/O	-	-	-	-	-		○		
(4)	カート	cartLabel	label	-	-	I/O	-	-	-	-	-		○	商品名、売価	選択された商品を格納していく
(5)	会計へボタン	goToAccounting	div(button)	-		I	-	-	-	-	-				会計画面のウィンドウを表示させる。
(6)	商品名	prodName	label	-		I/O	-	-	-	-	-				jQueryにて配列に格納されたデータを元に表示処理を行う
(7)	単価	price	label	-		I/O	-	-	-	-	-				jQueryにて配列に格納されたデータを元に表示処理を行う
(8)	個数	prodCount	label	-	-	I/O	-	-	-	-	-				jQueryにて配列に格納されたデータを元に表示処理を行う
(9)	金額	amount	label	-		I/O	-	-	-	-	-				jQueryにて配列に格納されたデータを元に表示処理を行う
(10)	合計金額	totalAmount	label	-	-	I/O	-	-	-	-	-				jQueryにて配列に格納されたデータを元に表示処理を行う
(11)	預かり金額	payment	label	-	-	I/O	-	-	-	-	-				jQueryにて配列に格納されたデータを元に表示処理を行う
(12)	お釣り	fish	label	-	-	I/O	-	-	-	-	-				jQueryにて配列に格納されたデータを元に表示処理を行う
(13)	確定ボタン	commitButton	div(button)	-		I	-	-	-	-	-		○	会計ログ	jQueryにて配列に格納されたデータを元に、JSONデータへ格納し、Servletからデータベースアクセスをする。

【1-4. 入力パラメータ】
なし。

【1-5. イベント詳細定義】

No.	イベント／条件	処理内容	P T実施結果記入欄					
			実施日	結果	実施日	結果	実施日	結果
1	自画面表示時	【検索処理】 1. 商品管理テーブルを検索する (1-6.DBアクセス(1)参照) 2. 商品テーブルを検索する (1-6.DBアクセス(2)参照) 【Servlet側での処理】 1. ログイン中の団体IDを元に【検索処理1】を行う。 検索結果はArrayListに格納する 2. 1で取得した商品IDを使い、【検索処理2】を行う。 検索結果は配列に格納し、配列そのものはArrayListに格納する 3. 配列一件につき、1-3画面項目定義の(1)-(3)までを生成する 4. jQueryとの連携用に、格納されたArrayListの情報をJSONへコピーする						
2	(1)取り消しボタン 押下時	【jQueryでの処理】 1. 個数表示ラベルの値を一つ減らす。						
3	(2)商品選択ボタン 押下時	【jQueryでの処理】 1. 個数表示ラベルの値を一つ増やす 2. Servletから受け渡されたJSONデータから、「商品名」と「売価」を取得し、カートに表示させる						
4	会計ウィンドウ表示時	【jQueryでの処理】 1. 選択された商品（カート）を一件ずつテーブルに格納する。						
5	確定ボタン 押下時	【jQueryでの処理】 1. 商品ID、商品名、売価、個数、現在時刻を、会計商品の数分JSONデータ化する。 【Servletでの処理】 1. JSONデータを受け取り、(1-6DBアクセス(3))を実施する						

【1-6. DBアクセス】

- (1)商品IDマッピング
取得カラム名
商品ID →ArrayList [productIdList] を準備し、繰り返し格納していく
検索対象テーブル名
商品管理
検索条件
商品管理.団体ID = [ログイン中の団体ID]
- (2)商品検索
対象カラム名
商品名、売価
検索対象テーブル名
商品ID
検索条件
商品.商品ID = [順次繰り返される商品ID] AND 商品.団体ID = [ログイン中の団体ID]
- (2)会計コミット
対象カラム名
商品ID,商品名,カテゴリID、売価、販売数、売上金額、時間
検索対象テーブル名
会計ログ
検索条件
商品.商品ID = [順次繰り返される商品ID] AND 商品.団体ID = [ログイン中の団体ID]